

ウンカ類情報第2号（トビイロウンカ）

令和5年7月18日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

トビイロウンカが近隣県で誘殺されました

1 発生状況

愛知県内では7月上旬までの本田調査においてトビイロウンカの発生を確認しておらず、予察灯においても誘殺されていません。しかし、日本植物防疫協会の海外飛来性害虫飛来予測システムによると、本年は本県への飛来に適した気象条件が6回出現しています（表1、図1）。

近隣県では、静岡県の予察灯1地点において6月第6半旬に1頭の誘殺が確認されています。近隣県の状況から、本県においてもすでに飛来している可能性が十分にあります。ほ場に入って株元をよく観察するなど、発生動向に注意してください（参考 図2、図3）。

2 防除時期

トビイロウンカの防除適期は各世代の幼虫期です。第一世代及び第二世代の幼虫期における本田防除が、その後の増殖を抑えるうえで有効となります。

また、幼虫の成長とともに薬剤に対する感受性が低下するため、早期の防除が重要です。

飛来予測日に本県にトビイロウンカが飛来していると仮定し、幼虫期の予測時期について有効積算温度をもとに計算しました（表2）。ほ場におけるトビイロウンカの発生動向、移植時期及び育苗箱施薬による防除の有無などを考慮し、表2を参考に防除を検討してください。

表1 愛知県への飛来予測結果

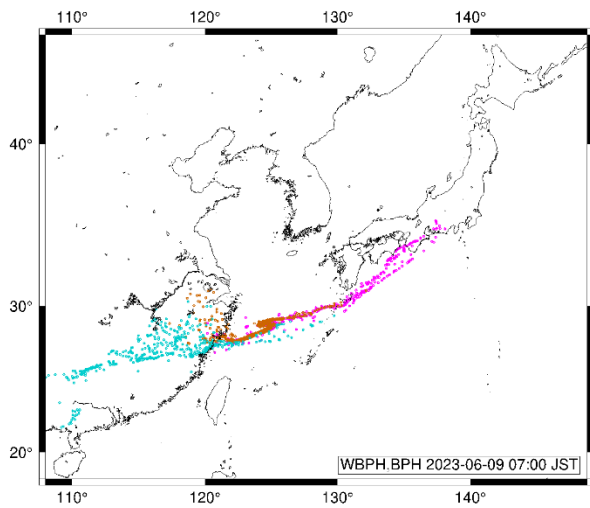
飛来予測日	
6月	9日
7月	1日、8日、9日、10日、11日（5回）

海外飛来性害虫 飛来予測システム（日本植物防疫協会）による

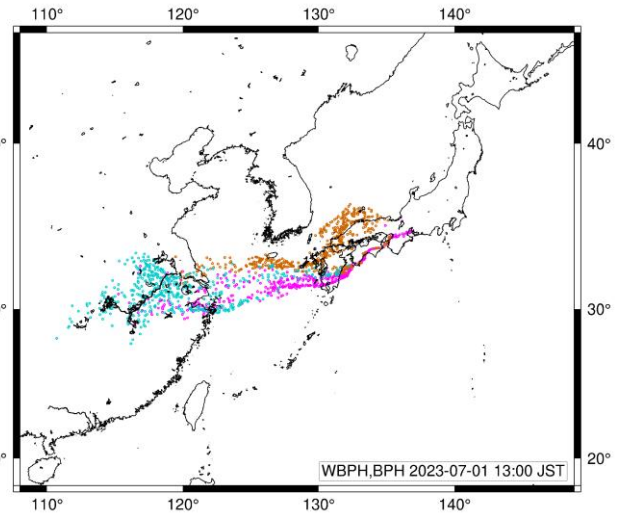
表2 有効積算温度をもとに計算したトビイロウンカの幼虫期の予測時期（7月18日計算）

飛来予測		名古屋	岡崎	新城	豊橋
6月9日 飛来群	第二世代幼虫	7月31日 ～8月11日	8月1日 ～8月13日	8月3日 ～8月15日	8月1日 ～8月12日
7月1日 飛来群	第二世代幼虫	8月16日 ～8月27日	8月18日 ～8月30日	8月20日 ～9月1日	8月18日 ～8月30日
7月9日 飛来群	第一世代幼虫	7月26日 ～8月6日	7月26日 ～8月7日	7月27日 ～8月8日	7月26日 ～8月7日
	第二世代幼虫	8月24日 ～9月5日	8月26日 ～9月7日	8月28日 ～9月10日	8月26日 ～9月7日

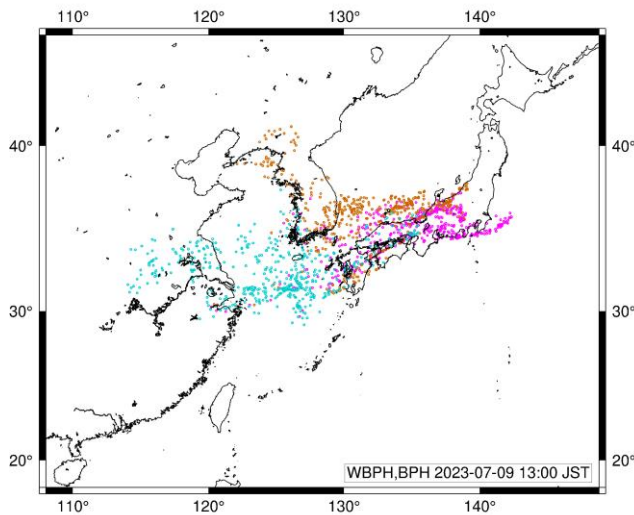
各地のアメダス平均気温から、有効積算温度計算シミュレーション（日本植物防疫協会）により予測した。7月17日までは実測値を、それ以降は平年値を用いて計算した。



6月9日 7時時点



7月1日 13時時点



7月9日 13時時点

図1 各飛来予測日におけるウンカ類飛来予測図

提供：JPP-NET



図2 トビイロウンカの幼虫



図3 株元に群生するトビイロウンカの幼虫